

脳卒中で本院へ入院された患者様へ

現在、国立循環器病研究センターが主導して、「[脳卒中レジストリを用いた我が国の脳卒中診療実態の把握に関する研究](#)」を進めており、本院もそのレジストリに参加しています。研究期間に入院された脳卒中の患者様のカルテ記載から得られる臨床データを解析させて頂き、医療の質の向上に役立てることを目的としています。解析にあたっては、[患者様の個人のプライバシーは完全に保護されます](#)。本研究の解析に自分のデータを使用されることを拒否される方および疑問のある方は、下記にご連絡下さいますようお願いいたします。

対象となる方

2002年1月1日以降に脳卒中発症から7日以内に当院に入院された患者様

研究課題名

脳卒中レジストリを用いた我が国の脳卒中診療実態の把握に関する研究

研究責任者

院内研究責任者：東京都済生会中央病院 内科担当部長 足立智英

脳卒中データバンク研究代表者：国立循環器病研究センター 副院長 豊田一則

研究参加者：脳卒中データバンクに参加している医療機関

研究の目的および概要

脳卒中は日本人の死亡原因の第4位であり、介護を要する状態になる原因としても多い疾患です。脳卒中データバンク事業は、1999年開始の脳卒中急性期患者登録研究(Japan Standard Stroke Registry Study:JSSRS)を前身として2002年から開始された急性期脳卒中の疾患レジストリ(登録)です。これまでに全国211施設が参加し、12万件以上のデータが蓄積されていますが、本邦の脳卒中診療実態を把握するには不十分です。この度、日本における脳卒中診療実態を把握するために脳卒中レジストリを構築することを目的として行われている研究です。

利用するカルテ情報・資料

患者様の診療情報として、年齢、性別、既往症、合併症、入院日および退院日、入院期間、発症状況、急性期治療の内容、診断・治療に関する血液検査、画像検査などの検査結果、脳卒中診断の詳細、リハビリテーション、退院状況、退院後の状況

研究期間

2002年1月1日から2026年3月31日

個人情報の取り扱い

お名前、住所などは調査しません。脳卒中に関する調査内容については、個人を特定できない状態で登録します。学会や学術雑誌で公表する際には、個人が特定できない様な形で使用します。

問い合わせ先

東京都済生会中央病院 内科（脳神経内科）・脳卒中センター
研究責任医師 足立智英
電話 03-3451-8211（代表）